

令和8年度 みずほ保育園 事業計画

主テーマ『一人一人を大切にした保育・保護者支援、そして皆の笑顔へ』

今年度 みずほ保育園では「一人一人を大切にした保育・保護者支援、そして皆の笑顔へ」という主テーマを掲げ、保育を実施していく事とし、保育内容の充実を図ると共に、子どもの健康や安全の確保を保ち、またそれを支える保護者の気持ちにも寄り添い、保護者の養育力の向上につながる保育園の特性を活かした支援を実施していきたいと思ひます。また「主体的な遊びが広がる保育環境の在り方」について実践的な振り返りを行い、子どもが安心して過ごせる居心地の良い保育環境の構築を目指したいと思ひます。

【施設運営】

① 入所定員の変更、中長期的な視点

みずほ保育園は今年度より入所定員数を「60名」から「55名」に変更します。

中・長期的な視点に立ち、求められる保育ニーズに基づいた保育を行い、地域に選ばれる保育園となるよう研鑽を積み、安定した保育所運営を行っていききたいと思ひます。

② 関係機関との良好な関係の構築

健全な「子育て」を支援するために、保護者との相互理解を図り、地域に開かれた子育て支援を行っていくためにも、市町村や関係機関との連携を密にとり、制度周知のリアルタイムの情報の把握に努め、保護者・地域に発信していきたいと思ひます

【人材育成】

「保育所保育指針」「子ども子育て支援新制度」、また「就学前施設満足度調査を通して保護者から求められる保育園の在り方、職員スキル」などの理解を深め、保育に寄せる様々な人の思いや願ひに支えられながら、子どもの幸せに寄与する事ができるよう園内で研鑽を深めます。また保護者にたいして「保育」や「食」に対する情報発信が行えるよう保育士だけではなく、調理職員に対しても研修の場を設けます。

【保育内容】

① 子どもが自主的に遊びを展開できるように

「人権がないところに学びがない」という見地に立ち、子どもの人権に配慮した保育環境の整備に努めたいと思ひます。また定期的に自身のクラスだけではなく、保育士全体は他クラスの様子も見学し合い、「学びになった点/やめた方がよい点/自クラスの保育に活かしたい点」等の振り返りを園の取り組み（隣の保育室）として実施し、ひいては保育園全体の保育環境の向上につなげたいと思ひます。

② 行事の在り方について

『行事を通した体験や学びは子どもの育ちを支える重要な役割を担っている』との見地に立ち、行事を計画・実施し、子どもの育ちを分かりやすく伝える一手段として 行事を実施していきたいと思ひます。また保護者参加行事も保護者の方が参加しやすい形式・実施時期を検討し、より大勢の方に子ども達の大きくなった姿を見に来ていただく機会を設けたいと思ひます。

【保護者の意見の収集】

保護者からの率直な意見は、改めて保育の原点、保育の在り方、問題の所在、原因などについて職員全体で話合うよい機会となります。また こうした意見や、直接苦情といった形にならない保護者からの意見、相談等を含めて、職員会議や園内研修の中で「職員のあるべき姿」について伝えていき、「保護者と共に考える」という観点に立って問題をとらえ解決に臨みたいと思ひます。

保護者の意見の収集の手段として、「連絡ノート」は、貴重な意見のやり取りの場として今年度も継続実施したいと思ひます。8年度より「イロドリ 2.0」を用いたアンケート機能も活用したいと思ひます。

【宮津学院の活動】

本年度も これまで通り保幼小中の連携を密にし、相互交流・相互理解を深め、学院教育目標である「ふるさと宮津を愛し、心身共に健康で「生きる力」を身につけた幼児・児童・生徒の育成」が行えるよう「宮津学院」の活動に参加・寄与していきたいと思ひます。